

資料 2

1

令和5年度藤沢市地産地消推進事業実行委員会事業計画 (最終報告)

新たな一次製品の創出に向けた農産物の 試作支援

2

予算額：100,000円 執行額：0円

計画の位置付：P.41【重点】(1)藤沢ブランドの創出（ア 藤沢ブランドとなる新たな一次製品の創出）

目標：かながわブランドへの登録 1件 実績：0件

- ▶ 藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町の農家が、「湘南黒豆」の名称で枝豆の共同出荷に取り組みました。早生種で早期出荷の有利販売が期待されます。JAさがみでは、電子レンジで加熱できる包装や統一ステッカーでブランド化を進めています。
- ▶ また、県農業技術センターが育成した「湘南ポモロン」シリーズの一つである「湘南ポモロンショコラ」を2023年から栽培できるようになり、本市でも生産が始まりました。
- ▶ 令和5年度においては、かながわブランドへの新規登録はありませんでした。



湘南黒豆



湘南ポモロンショコラ、ゴールドG4、レッド35R

未利用魚を活用した加工品の開発支援及び学校給食での活用検討

3

予算額：150,000円 執行額：322,550円

計画の位置付：P.41【重点】(1)藤沢ブランドの創出（イ 藤沢産農水産物を利用した加工品の開発支援、ウ 未利用魚の認知度向上）

P.43【重点】(2)藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化（イ 藤沢産農水産物等の利用促進）

目標：新たに開発した加工品の学校給食での活用 実績：9校で活用

- ▶ 江の島片瀬漁業協同組合・水産加工会社・市学校給食課と協議し、江の島沖定置網で獲れた市場価値の乏しい魚（ジンタ、ワカシ）をすり身に加工したのち、つみれ汁の試作を行いました。
- ▶ 試作の結果を踏まえ、1月16日～2月8日の間に9校の小学校で『地魚団子汁』や『地魚団子の甘酢あん』などのメニューで給食として提供しました。
- ▶ 本実行委員会の予算から、原材料費及び加工費の支援を行いました。



大清水小学校の給食（おでん）

藤沢産農産物を利用した加工品の開発支援【拡充】

4

予算額：200,000円 執行額：110,055円

計画の位置付：P.41【重点】(1)藤沢ブランドの創出（イ 藤沢産農水産物を利用した加工品の開発支援）

目標：開発支援した加工品の販売 実績：『藤田熊醸』の販売

- ▶ 持続可能な農業の実現に向けて、休耕田の発生を抑制に寄与する藤沢産酒米100%の日本酒『藤田熊醸』が6月21日に発売されました。本実行委員会では、酒米生産の継続を支援するため、生産者の要望に基づき、鳥獣被害対策物品を貸与しました。
- ▶ 藤沢市役所本庁舎や元気バザールセレクトマルシェにおいて、即売会を行いました。
- ▶ 2月13日に、酒米生産者・熊澤酒造の杜氏を講師に招き、湘南大庭市民センターにおいて、『～市内産の米で日本酒を作れ～地元生産者が語る銘酒『藤田熊醸』の誕生まで！』開催しました。受講者：20名。



『藤田熊醸』発売に係る記者会見の様子



貸与した鳥獣被害対策物品



市民向け講座の開催状況

特定給食施設での藤沢産米の利用促進

5

【新規】

予算額：200,000円 執行額：210,735円

計画の位置付：P.43【重点(2)藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化(ア 藤沢産米の利用促進)

目標：特定給食施設での藤沢産米利用 60t

実績：61t（公立小学校・養護学校46.7t、中学校2.9t、民間事業所11.4t）

- ▶ 11月2日に開催された特定給食施設従事者講習会において、藤沢産農水産物の活用について、PRを行いました。
- ▶ 藤沢産米の利用に前向きな特定給食施設に対し、試食用サンプル米の提供を行い、社員食堂等での活用に至りました。
- ▶ 藤沢産米をPRするためのポスターを作成し、社員食堂等での藤沢産米が提供される際には、視覚的にアピールを行いました。



社員食堂で提供された藤沢産米



藤沢産米PRポスター

小学校でのふりふりバター体験事業

6

保育園児との交流に係る講師謝礼【拡充】

予算額：60,000円【ふりふりバター体験事業分】

執行額：23,087円

計画の位置付：P.43【重点(2)藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化(ウ 生産者等との交流による藤沢産農水産物等への理解促進)

予算額：40,000円【保育園児との交流分】 執行額：42,262円

計画の位置付：P.43【重点(2)藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化(ウ 生産者等との交流による藤沢産農水産物等への理解促進、オ 学校・保育園周辺で生産されている農産物の活用)

目標：生産者と交流した保育園児数 54名（前年度の倍） 実績：131名

- ▶ 11月8日（水）藤沢市立浜見小学校において、市内で搾乳された牛乳等を使用したバターづくり体験事業を実施し、市内畜産業への理解促進、地産地消及び食育の推進を図りました。
※同日にやまゆりポーク生産者協議会と連携して畜産の授業も実施しました。
- ▶ 6月から9月にかけて俣野保育園を訪問し、バケツ稲を使って生育を学ぶ機会を設けました。12月12日（火）柄沢保育園において、水稻を題材とした講義を行いました。



バターづくり体験



バケツ稲の生育観察



生産者による水稻の講義

地産地消イベント事業

オーガニックマルシェ、元気バザール、サンセットマルシェ

7

予算額：300,000円【オーガニックマルシェ分】 **執行額：201,540円**
 計画の位置付：P.47【重点】(3)地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化（ア 新しい生活様式に応じた藤沢産農水産物等を活用したイベント・講座の開催）
 目標：来場者数 628名（前年度の120%） **実績：721名**

予算額：120,000円【ふじさわ元気バザール、サンセットマルシェ分】
執行額：143,976円
 計画の位置付：P.47【重点】(3)地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化（ア 新しい生活様式に応じた藤沢産農水産物等を活用したイベント・講座の開催）

- ▶ 有機農業の取組面積拡大に向け、11月23日（木）に辻堂神台公園において、藤沢産オーガニックマルシェを開催しました。有機野菜の直売のほか、ワークショップ等を開催し、721名の方に来場いただきました。
- ▶ 11月11日（土）に開催された元気バザールにおいて、新米（はるみ）のPR・配布を行いました。
- ▶ 12月27日（水）28日（木）にサンセットマルシェ歳末感謝祭を開催し、市内の特産品等のPRを行いました。



花育体験イベント事業

PR用花き等購入費

8

予算額：100,000円【花育体験イベント事業】 **執行額：105,559円**
 計画の位置付：P.47【重点】(3)地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化（ア 新しい生活様式に応じた藤沢産農水産物等を活用したイベント・講座の開催、イ 生産者と消費者の交流イベント等の開催）

予算額：100,000円【PR用花き等購入費】 **執行額：96,718円**
 計画の位置付：P.47【重点】(3)地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化（ア 新しい生活様式に応じた藤沢産農水産物等を活用したイベント・講座の開催）
 目標：市役所本庁舎以外での展示。花き以外の農産物の展示。 **実績：保育園、選挙管理委員会、国際交流フェスティバル（サンパール広場）**

- ▶ 12月9日（土）藤沢市役所本庁舎サンライズ広場において、花育体験イベントを開催し、17名の小中学生とその保護者が参加しました。
- ▶ 市役所本庁舎等において、季節の藤沢産農産物を展示し、PRを行いました。



開催の様子



展示の様子



食育講座 ～大豆で学ぶ農と食～の開催

9

予算額：0円 執行額：44,635円

計画の位置付：P.47【重点】(3)地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化（ア 新しい生活様式に応じた藤沢産農水産物等を活用したイベント・講座の開催）

- ▶ 津久井在来大豆の栽培から収穫までを体験する講座において、調理実習を再開し、味噌や豆腐の料理教室開催しました。7月8日～12月23日まで全7回開催。参加者27名。



圃場での作業風景



味噌づくりの様子



完成した豆腐・豆ごはん・味噌汁

ロゴマークシールとSNSを活用した 「藤沢産」の認知度向上【新規】

10

予算額：50,000円 執行額：37,835円

計画の位置付：P.47【重点】(3)地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化（オ 藤沢産農水産物等の表示）

目標：藤沢産ロゴマークの認知度 41.84%

実績：43.7%

- ▶ 「藤沢産」ロゴマークシールの貼られた農水産物の写真をInstagramに投稿していただいた方に、抽選で藤沢産農水産物及び加工品をプレゼントするキャンペーンを実施しました。

● 投稿件数 10件



藤沢産ロゴマーク

動画・PVの作成

11

予算額：100,000円 **執行額：110,550円**

計画の位置付：P.51【長期】(1)藤沢産農水産物の付加価値向上に取り組む施策（ウ 藤沢産農水産物等のおいしい・旬の普及啓発・情報提供（ウ）「おいしい藤沢産」ホームページ等での情報発信）

目標：動画投稿本数10本。総動画再生回数10,000回。

実績：動画投稿本数9本。総動画再生回数9,626回。

- ▶ 認証制度のインセンティブとして、藤沢産利用推進店のPVを作成しました。
- ▶ 撮影は事務局職員が行い、コスト削減を図りました。
- ▶ 撮影時は、生産者による納品の様子等も撮影し、より農業を身近に感じる動画としました。
- ▶ 作成した動画は、YouTubeのほか、庁舎のデジタルサイネージなどで放送しました。
- ▶ おいしい藤沢産Instagramにおいても、リール動画を投稿しました。



藤沢産利用推進店PR用「食べ歩きマップ」の作成

12

予算額：150,000円 **執行額：179,960円**

計画の位置付：P.49【長期】(1)藤沢産農水産物の付加価値向上に取り組む施策（エ 藤沢産農水産物等の需要拡大・供給強化（ア） 藤沢産利用推進店の充実）

- ▶ 「食べ歩きマップ」を増刷し、藤沢市内の駅やホテル等に配架してもらい、藤沢産利用推進店のPRを行いました。
- ▶ 「食べ歩きマップ」は英語バージョンも作成しました。

